

議会だより



美浜町新庄獣肉加工施設

BON1029
BLESSINGS OF NATURE

好きです！
美浜！！



株式会社 ゼンガ
金全額 施設建設費に充てられ
金全額 自然と共に生きる会 ゼンガ
BON1029
BLESSINGS OF NATURE

福井県三方郡美浜町新庄200-5-1

【今月の表紙】はたらく人シリーズ②

地域おこし協力隊 かしわ きょうすけ 柏 京佑さん

美浜町新庄獣肉加工施設「BON1029」で働いています。
(インタビュー記事2ページ参照)

地域おこし協力隊	2
町民の声が議会を動かす	3
町の話	4～5
令和3年度一般会計補正予算概要	6～7
常任委員会の動き	8～9

議案・採決一覧	10～11
一般質問	12～15
小学校運動会	16
編集後記	16

宮城県出身の22歳の若者が、美浜町に移住して「地域おこし協力隊」の活動をしています。その思いを聞きました。



かしわ きょうすけ
インタビューを受ける 柏 京佑さん
【場所】café MIROKU(カフェミロク)

地域おこし協力隊

美浜町を選んだきっかけは？

【柏さん】東海大学海洋学部のゼミの教授が美浜町との関係が深く、ゼミのフィールドワークで体験交流をしたことが美浜町を選んだきっかけになっています。

住んでみて感じたことは？

【柏さん】獣肉加工を通じて、森の恵みといのちの尊さを実感しながら生活しています。自然の豊かさは美浜町の魅力です。

また、地域のみなさんがあたたかい。地区で取れた野菜や米などをいただいて生活面でも助けてもらっています。

私は本を読むのが好きなので、充実した図書館があることがとてもうれしいです。

地域おこし協力隊の経験を活かした展望は？

【柏さん】様々な交流を通じて販路の拡大に挑戦しています。しかし、獣肉加工業だけで生計を立てるのは非常に厳しいです。6次産業化した企業に就職するか、海洋学部で学んできたことを活かして農林水産業の複合的な事業を展開しながら収益を確保することが必要だと思っています。

趣味は？

【柏さん】古着屋（ファッション）が好きなのですが、共感できる若者が少ないのがさみしいです。他には、雰囲気の良いBARでお酒を飲むのが好きです。

インタビューの最後に、柏さんは「地域おこし協力隊として残された期間内（約1年半）に、美浜町で取れた獣肉を学校給食で使用してもらえるように取り組んでいきたい」と、力強く語りました。

「シカやイノシシを森のめぐみとして活用することで、いのちを大切にする。人々の気持ちを呼び戻し、豊かな森と清らかな水を後世につなぎたい」と考えている柏さんの思いが印象に残りました。

【議会の課題】地産地消の食育を通じて、柏さんの思いを子どもたちに伝えることができないか！



町民の声が議会を動かす！



渡辺 厚子さん（美浜町在住）

**認知症とともに
よく生きる地域
を目指して**

趣味の詩吟を楽しみ、ボランティ
ア活動にも精をだしていた母が認知
症と診断され、10年前から四苦八苦
の介護が始まりました。認知症に
なっても、生き生きと今まで通り暮

らし続けていきたいという思いは、
母を含め、みなさん共通ではないで
しょうか。

母は当初、バスで通所させられる
ことに必要性を感じておらず、全身
で抵抗しました。自分の有用感が削
ぎ落とされていくって介護サービスに
適用していくというのは悲しいこと
です。「徒歩圏で、顔馴染みのいる、
行くも帰るも自由なデイサービスが
できたらなあ」と思いました。「認
知症Ⅱ介護される人」ではなく、地

域の「生活者」
としてあり続け
られる、そんな
サービスが必要
です。

夜間はせん妄
（異常な行動や
言動、興奮など
がみられる状態）
が強まり、家族
のみの介護では
負担が大きいで
す。認知症施策
推進総合戦略

（新オレンジプラン）には、ヘルパー
や訪問の定期・随時巡回サービスが
謳われます。しかし、過疎広域地域
では採算が取れず実施されていませ
ん。在宅ケアを現実のものにするに
は、ナイトサービスが進まないとい大
変難しいです。

辛いのは、熱を出そうが、腰痛で
あろうが通院しなければならないう
ことです。弱っている体には酷ですし、
高齢者にとって通院はリスクが高く、
在宅訪問診療が必要とされています。
敦賀市、小浜市、若狭町では在宅訪
問診療が行われているので、美浜町
でも実現して欲しいです。

私たちは、幾多の課題がある中、
当事者・家族の相談役を目指し、「リ
ンクワーカーの会」を立ち上げ学習
会を行ってきました。認知症ととも
によく生きる地域のために、認知症
を深く理解する人づくりは不可欠で
す。「お前が忘れても俺が覚えてい
る」と言える人が増え、認知症の人
が普通の隣人になる優しい日のため
にがんばります。どうか力を貸して
ください。



総合運動公園ふわふわドーム

令和3年6月16日、美浜町総合運動公園「にじいろパーク」（ふわふわドーム等）の利用が開始され、子どもたちでにぎわっています。

利用者目線の運用が課題です。

町の話題

議会が視察・調査した内容をお知らせします。

利用時間：午前9時～午後6時
（日曜日については午後5時）

※毎週月曜日、祝祭日の翌日は、「ふわふわドーム」は使用できません。

※雨天の場合は使用を中止しています。また、季節により利用時間が変更になる場合があります。



はーぶ&れもん園（菅浜わくわく協働体）

菅浜地区では、区民が主体となってまちづくりを進める「菅浜わくわく協働体」が発足しています。

地域の魅力創出につながる取り組みのひとつ「恵みとくらし」では、休耕田を活用してハーブを約400本、レモンを約80本植栽しています。区民一丸となった取り組みが認められ、美浜町のモデル地区として行政が支援に動いています。

区民主体で森林と農業を生かす事業展開が、観光誘客、移住定住、地域活性化の原動力となることに期待が膨らみます。

「道の駅」建設予定地の現状

美浜町が令和4年夏ごろの開業をめざして進めている「道の駅（はまびより）」の建設予定地です。

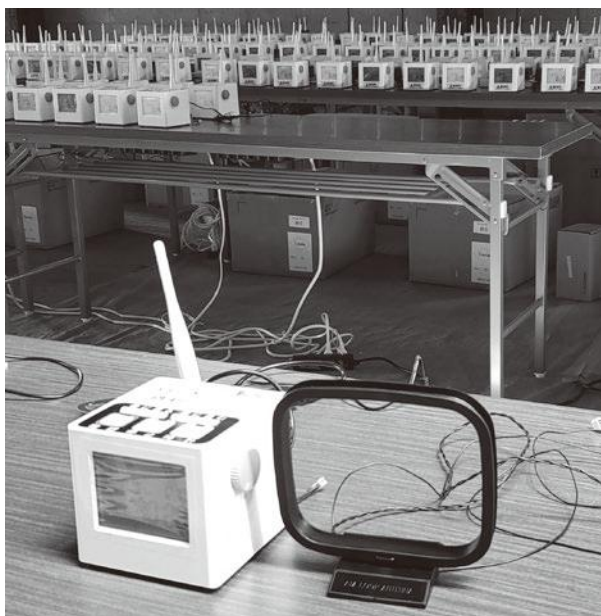
現在、用地取得と建物の解体が進んでいます。開業予定に間に合うのか注視しています。



農業人材育成拠点施設（観光農園生産施設）

美浜町は、観光農園1棟、育苗施設2棟、生産施設4棟の建設を進めています。現在、生産施設2棟の工事が進んでいます。今後、指定管理者により「イチゴ園」の管理運営が開始される予定です。

「道の駅」と連携した集客、イチゴの品質・ブランド力を高めることが課題です。



防災情報伝達システム戸別受信機

議会は、不具合事象が発生していた戸別受信機について事業者の責任を厳しく追及してきました。

議会現地視察においても連続稼働試験、放送試験、戸別受信機の改善点を確認しました。

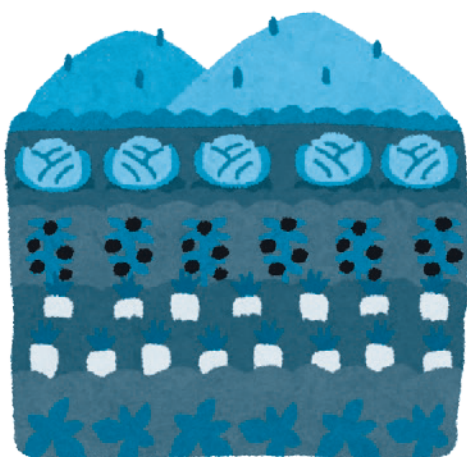
現在、8月1日の運用開始をめざして戸別受信機の再配付が進んでいます。

議会による厳しい追及の結果、機器の充実や事業者の丁寧な対応が図られていると思います。

新規就農支援事業

農林水産業費 218万円

町内で就農し、農業法人や美浜町農業人材育成拠点研修施設での研修期間中の新規就農者などに対する給付金です。



美浜町スマートコンパクトシティ魅力創造拠点化事業

土木費 1億8,702万円

北陸新幹線開業に向け、道の駅および美浜駅前広場を整備する経費です。

・再生可能エネルギー導入工事、工事管理業務 ・デザイン監修 ・無電柱化工事



6月定例会

令和3年度
一般会計補正予算(主要事業)

**6月補正予算額
9億417万円**

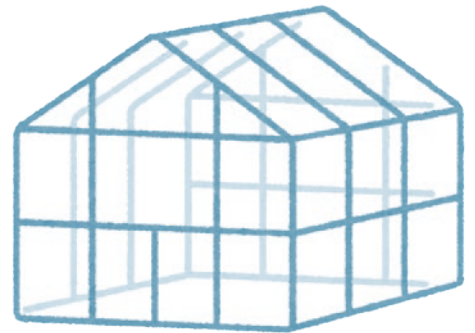
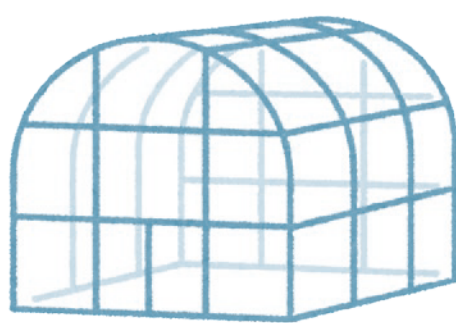
審議 8ページ参照

新 規 ・ 拡 充

園芸育成支援事業

農林水産業費 7,117万円

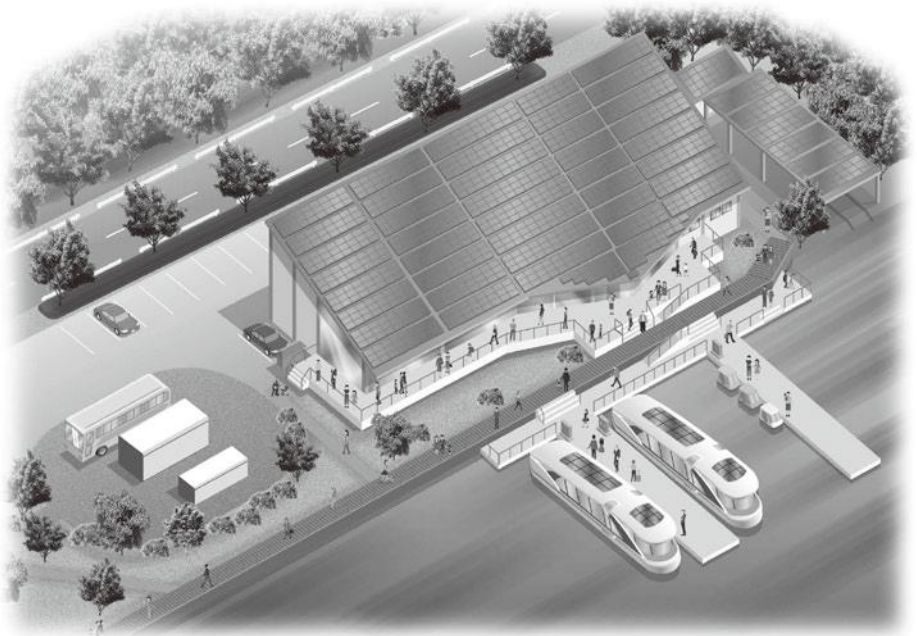
リース型ハウスで農業経営を行うことにより新規就農者の初期投資に係る負担を軽減し、経営の安定を図るためのリース型ハウスを整備する経費です。



三方五湖ゾーン 整備事業

**商工費
1億8,942万円**

北陸新幹線開業に向けた三方五湖ゾーンの整備の一環として、新レークセンターに太陽光システムを整備する経費です。



常任委員会の動き

予算決算
常任委員会

付託案件7件

新型コロナウイルス感染症対策に係る事業が拡充

◎専決処分の承認を求めることについて(令和3年度美浜町一般会計補正予算(第1号))

問 「がんばる美浜町事業者応援商品券事業」はいつから開始できるのか。

答 商品券の販売は6月22日から7月30日まで、利用は6月22日から来年1月31日までとし、1世帯5冊を限度に町内4か所の郵便局で販売したい。

太陽光システムの導入、整備費が充実

◎令和3年度美浜町一般会計補正予算(第2号)について

問 「若者ファンづくり事業」の中でeスポーツを計画しているが、専門業者等の支援が必要と思う

がどうか。

答 福井県eスポーツ連合福井支部の協力を依頼している。

問 「小さな農業チャレンジ応援事業」はいつから実施されているのか。

答 第二次農業基本計画にうたっており、今回は菅浜区わくわく協働体のハウス設置を支援するものである。

問 「三方五湖ゾーン整備事業」の1億8942万円は、太陽光発電の導入予算と思うが、商用電力との併用になり経営を圧迫するのではないか。

答 三方五湖DMO(株)の計画では採算が取れるとしている。100%再生可能エネルギーでの運航は中長期的に検討したい。

問 「空家等対策事業」において、特定空家は何軒で、解体に込んでいるのは何軒あるのか

答 特定空家が33軒・準特定空家が18軒で、指導7軒、解体2

軒である。

問 道の駅事業の「太陽光発電導入工事」1億8702万円は、町が企画・設計・入札し発注するのか。

答 そのとおりである。道の駅の建物やSPCが建て、その屋根等を借りて町が太陽光パネルや蓄電池等の設置工事等を発注する形になる。(高橋記)

総務文教
常任委員会

付託案件2件
請願1件

個人町民税、固定資産税等の関係規定を整備

◎専決処分の承認を求めることについて(美浜町税条例等の一部を改正する条例の制定について)

問 個人町民税関係で住宅借入金等特別税の特例で、控除期間を13年に特例延長するとあるが、控除期間10年が13年となるのか。それとも更に13年の延長期間となるのか。

答 令和元年度に消費税が8%から10%に至るまでの特別控除の期間は10年であったが住宅産業が国の基幹産業であり消費の冷え込みを防ぐため13年に延長したもので、

今回コロナ禍の影響も考慮され、13年の期間措置も延長される。

問 住宅の床面積等の緩和というものがあるがこれはどのような効果があるのか。

答 住宅の面積緩和で、これまでの50㎡以上を40㎡以上とし、小規模の住宅まで対象を拡大するといふもので、住宅建設需要を高める効果が望める。

問 固定資産税で、新型コロナウイルス感染症による納税者の負担軽減の配慮から、令和3年度に限り、課税額が上昇する土地について据え置く特例措置が講じられるとのことだがこの減収分は、国からの財源補填等の措置があるのか。

答 今回は令和3年度に限る特例措置で、減収分については、交付金という形で措置が設けられる。

国民健康保険税の減免措置

◎美浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

問 新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税の特例は、運用実績であり、その措置の対象期間が令和4年3月31日まで

延長されるが国からの財政支援はどのように行われるのか。

答 国からの税制支援は、交付金の充當で行われる。その期間が令和3年度までであったがコロナ対策で1年間延長されることとなった。

核兵器禁止条約日本政府に要請

◎請願第2号 日本政府に「核兵器禁止条約」への署名と批准を求める意見書の提出に関する請願

委員からは「アメリカと同盟を結んでいる限り本意見書には同意できない。」との反対の意見や「戦争被ばく国として核兵器禁止条約を批准すべき。」等の賛成意見があり、採択の結果、不採択としました。(梅津記)

産業厚生
常任委員会
付託案件7件
請願 1件

介護保険料の減免特例が延長

◎美浜町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

問 改正内容は、新型コロナウイルス感染症の影響により介護

保険料の減免の対象期間を令和4年3月31日まで延長するもので、すでに運用実績があるものである。国から交付されるという財政支援は、国民健康保険税分と介護保険料分で、交付される金額の区別は出来るのか。

答 区別できるようになっている。令和2年度の財政支援については、介護保険料の減免分のほぼ全額が財政支援の対象となる。

感染症対策を強化、義務付け

◎美浜町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

問 居宅介護支援者に感染症への取組を強化するため、感染症の発生及び蔓延の防止のための検討委員会の開催、指針の整備、研修・訓練の実施を義務付けるとあるが、

具体的な基準があるのか。

答 検討委員会を6カ月に1回以上開催し、その結果を介護支援専門員に周知徹底を図る。それから感染症予防、蔓延防止対策の指針を整備する。また、その研修や訓練、シミュレーションを定期的に実施することを義務付けている。

介護現場の業務効率化、負担軽減を図る

◎美浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

問 全ての事業者には、感染症取組を義務付けるなどの対策を強化しておいて、人員基準や運営基準を緩和すると、現場の負担が増加し、介護の質を低下させることにならないか。

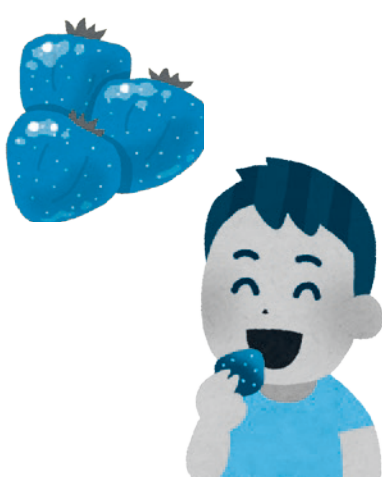
答 今まで1人ずつ担当者を配置していたところを、併任できるように緩和をしているが、感染症対策への取組についても現在もしっかり行っているので、事業所の体制には影響はない。

地域農業の振興、活性化を図る

◎美浜町農業人材育成拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について

問 観光農園の使用料は、1時間当たり大人3000円、小人1500円、幼児750円、高齢者1300円とあるが、内容と金額の説明を。

答 イチゴ園でイチゴのもぎ取りを考えている。全国的には1時間2000円から3500円ぐらいなので、高い部類に入っているが、美浜のブランドを構築していく上で、この金額に設定した。季節によって料金設定も変わるので、3000円の上限を基準として考えている。(川畑記)



6月 美浜町議会定例会 議案

議会最終日には「エネルギー基本計画の見直しに関する意見書の提出について」などの発委2件、「地方鉄道の維持・活性化について国の関与を求める意見書の提出について」の発議1件が追加提出されました。

議案番号	件名	委員会付託	議決結果	対応ページ
議案第 34 号	令和2年度美浜町ケーブルテレビ施設更新工事(第3期)請負契約について	—	可決	
議案第 35 号	令和3年度美浜町農業人材育成拠点整備事業観光農園建設工事請負契約について	—	可決	P5
議案第 36 号	令和3年度美浜町農業人材育成拠点整備事業生産施設建設工事請負契約について	—	可決	P5
議案第 37 号	美浜町レークセンター切離解体工事請負契約について	—	可決	
議案第 38 号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度美浜町一般会計補正予算(第1号))	予算決算	可決	P8
議案第 39 号	専決処分の承認を求めることについて(美浜町税条例等の一部を改正する条例の制定について)	総務文教	可決	P8
議案第 40 号	令和3年度美浜町一般会計補正予算(第2号)	予算決算	可決	P6・7・8・11
議案第 41 号	令和3年度美浜町診療所事業特別会計補正予算(第1号)		可決	
議案第 42 号	令和3年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		可決	
議案第 43 号	令和3年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)		可決	
議案第 44 号	令和3年度美浜町集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号)		可決	
議案第 45 号	令和3年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)		可決	
議案第 46 号	美浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決	P8
議案第 47 号	美浜町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決	P9
議案第 48 号	美浜町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		可決	P9
議案第 49 号	美浜町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		可決	
議案第 50 号	美浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		可決	P9
議案第 51 号	美浜町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		可決	
議案第 52 号	美浜町農業人材育成拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について		可決	P9
請願第 1 号	75歳以上の医療費の窓口負担を2割に引き上げないことを求める請願	—	不採択	P11
請願第 2 号	日本政府に「核兵器禁止条約」への署名と批准を求める意見書の提出に関する請願	—	不採択	P9・11
発委第 1 号	美浜町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	—	可決	
発委第 2 号	エネルギー基本計画の見直しに関する意見書の提出について	—	可決	P11
発議第 2 号	地方鉄道の維持・活性化について国の関与を求める意見書の提出について	—	可決	P11

※略称 < 予算決算 >・・・予算決算常任委員会 < 総務文教 >・・・総務文教常任委員会 < 産業厚生 >・・・産業厚生常任委員会

賛否が分かれた議案

議席順に掲載(○賛成 ×反対 -欠席 □退席)※議長(竹仲良廣)は採決に加わりません。反対または退席があった議案だけ載せています。

	仲 嶋	高 橋	寺 田	梅 津	河 本	辻 井	川 畑	松 下	崎 元	山 口	藤 本	兵 庫	北 村
議案第 40 号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第 1 号	○	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
請願第 2 号	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
発委第 2 号	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○

討 論 概 要

◎議案第40号 令和3年度美浜町一般会計補正予算(第2号)

【反対討論】

不要不急のハコモノであると反対してきた「レークセンター」と「道の駅」に、新たに合計3億3541万円をかけて太陽光システムを導入することを認めることはできない。
(河本議員)

◎請願第1号 75歳以上の医療費の窓口負担を2割に引き上げないことを求める請願

【賛成討論】

議会として「高齢者への負担を強いることは認めない」という意思表示をしたうえで、国に負担軽減のための措置を取っていただくためにも請願を採択し、国に意見書を提出するべきだ。
(河本議員)

◎請願第2号 日本政府に「核兵器禁止条約」への署名と批准を求める意見書の提出に関する請願

【賛成討論】

「核兵器禁止条約」は、核兵器の使用と実験による壊滅的な人道上の被害を軽減する国際人道法上初の法規として発行した。しかし、不断の努力をしなければ、核兵器の使用リスクは高まらない。

核兵器禁止条約に背を向けている日本政府に対して、核兵器禁止条約への参加、調印、批准することを強く求める意見書を国に提出したい。
(河本議員)

◎発議第2号 地方鉄道の維持・活性化について国の関与を求める意見書の提出について

【賛成討論】

国に対して、JR小浜線の安定的な維持・存続を図るため、収支差に応じた減収補填制度を創設すること。減便や駅の無人化など

の急進的な合理化をすることがないよう、国として積極的に関与することを求めているので、意見書提出に賛成する。
(河本議員)



◎発委第2号 エネルギー基本計画の見直しに関する意見書の提出について

【反対討論】

原子力発電は再生可能エネルギーや他の発電方法に転換させていく産業であり、原子力政策というものが存続するのなら原発の廃炉を明確化し、老朽原発の理解促進など必要としない社会を実現し、破綻している核燃料サイクルから撤退することを望んでいるので、意見書を国に提出する必要はない。
(河本議員)



こうもと たけし
河本 猛 議員

怒りの苦情、どう対応したのか！
答 丁寧な対応、電話回線を増強し、周知・サポートに取り組んでいる。

問 新型コロナウイルスの接種について「1日中電話をかけてもつながらない」「役場からネットなら24時間申し込みができると言われたが、高齢者でネットを使えない者はどうするんだ」「やっと電話がつながったが既に予約がいっぱいだった。次に予約が取れる



るかも分からないのにまた電話をかけ続けるのか」「耳が遠くなり、電話での予約は無理、諦めるしかないのか」などの苦情が寄せられた。怒りの苦情に行政はどのように対応したのか。

副町長

町民の皆様には大変な御不便をおかけいたしました。改めて深くおわびを申し上げます。

インターネットが使えない、スマートフォンでの予約の方法が分からないなど、直接窓口に来られた方が30人ほどいたが、そのときには職員が一緒にスマートフォンを操作するなど丁寧に対応した。

5月10日からの集団接種の予約開始については、電話回線を2回線増強し、計6回線で苦情もなくス

ムーズに対応することができた。また、予約ができない方への対応として、各種団体にワクチン接種の周知と高齢者の方へのサポートなどの協力をお願いしている。

問 競争をおおるような予約方法を改め、公的責任で地域別に順番を設定し、町民が混乱することなく予約ができる方法を考えるべきだ。

健康福祉課長

これまでの反省を生かし、年代別に予約開始日を分散させる方法などを取り入れながらスムーズに予約、接種ができるよう進めていきたい。

医療的ケア児や難聴児保護者の声を受け止める環境の醸成が重要だ！
答 声を受け止めることに努め、行政一体となつて取り組む。

問 障害のある児童を育てる家庭というのは社会的には常に少数、その声は

政治に届きにくい環境にある。当事者が声を上げやすく、その声をしっかり受け止める行政の姿勢、そういった環境の醸成が重要だ！町長、必要だと思わないか。

町長 我々は、いろんな福祉政策を講じる中で、障害をお持ちの方の声を受け止めることに努めている。力足らずのところは国や県に強く訴えながら、行政一体となつて支援ができるよう取り組んでいきたい。

特別目的会社から安い請負額を提示されたのではないか！
答 塩浜工業の経営判断によるものと思われる。

問 美浜町「道の駅」建設、塩浜工業の辞退について、地元では到底考えられないような安い請負額を特別目的会社から提示されたとしてもおかしくない。

土木建築課長

協力企業の変更は、基本協定書及び事業契約書の規定に基づきなされるものであり、

意見 医療、福祉の課題は多岐にわたるが、医療的ケア児や難聴児保護者などの支援について、迅速に施策の充実を図られるよう県や関係機関など協議を進めるとともに、当事者にかかり向き合ってほしい。



辞退については株式会社塩浜工業の経営判断によるものと思われる。

意見 腑に落ちない点が数多くある。建設の段階に至っても地元から背を向けられるような「道の駅」はうまく機能しない。PFI事業での「道の駅」建設はやめるべきだ！



ひょうご けんいち
兵庫 賢一 議員

美浜町の道路行政 について

**町の道路計画と
町民の実生活に
乖離は無いのか？**
答 幹線道路は都市計
画を経て決定。

問 町が20年ほど前計画
した「県道河原市・
笹田線」の整備が、昨年「県
道郷市・日向線河原市バイ
パス」と名を変えて認可さ
れた。「県道松屋・河原市線」
がS字カーブを描きなが
ら現在ある「町道河原市・
和田線」へと繋がる事にな
った。名称もルートも大
幅に変更になったが住民と
しては歓迎している。初め
の計画では国道と交差後は
JRと交差するのにアン
ダーパスすることになり、

それよりも深刻なのは、
J Rの決まりで、現在有る
町道のガードが塞がれ、近
隣住民の道路や生活そのも
のが段差と小浜線の土手で
寸断される運命に有った。
ルートの変更によって地域
の利便性は保たれた。住民
の生活とかけ離れた内容の
道路計画は、どのようなプ
ロセスを経て決定されるの
か伺いたい。

町長

公共性の高い幹線道
路は都市計画審議会
を経て決められる。投資
効果が得られること、地
権者や関係機関の了解が
得られること、道路構造
令に基づく要件を満足す
る事、予算を確保するな
どが必要で、道路の供用
を優先するため路線の変
更も有る。

**土木建築
課長**

これは昭和41年都市
計画道路に決定さ
れ、一般県道などと
は違い、長期的な視野を
持つて将来にわたる都市
像を描きながら計画を策
定している。J Rとの協
議で了解が得られなかつ
たためルートの変更と

なった。

問

町道駅前線の整備が
始まったが、早くか
ら調査が進み住民からの要
望の多い町道郷市佐柿線も
含めて整備するスタンスが
あつてしかるべきではない
か。

**土木建築
課長**

同線は特に消雪設備
について関係各区か
ら要望を聴いており、
整備に向けて設備を設置
することを念頭に排水計
画を立てた。それを踏ま
えて小倉交差点から段階
的に整備を進めていると
ころである。

レイクセンターの 費用対効果は？

答 滞在型観光の拠点
施設として整備する。

問

三方五湖DMO(株)が
立ち上げられ、新た
なレイクセンターを建設し
新しい遊覧船を運航する計
画が動き出した。計上され
ている予算は莫大な金額で
あり、遊覧船自体は船の運
航でランニングコストを賄



えれば成功で、美浜町の観
光産業全体に対する投資と
割り切らなければうなづけ
る話ではない。事業展開に
よる波及効果に期待したい
が如何か。

**観光戦略
課長**

遊覧船運営による地
域への波及効果とし
て、レインボーライ
ン等の観光施設との連携
や企画による集客、滞在
時間の延長による宿泊客
の増加など、観光客増加

による地域での飲食機会
の増加、それに伴い新た
な生業による雇用の創出
などである。カヤックや
サイクリングの拠点、湖
畔デッキなども整備し、
周遊観光の拠点施設と位
置付けている。

彫刻の森の活用 は？

答 周遊観光の資源と
して重要視している。

問

町内の数ある観光資
源の内彫刻の森につ
いて、30年程前に整備され
たが最近では放置状態であ
る。今後の整備活用につい
ての計画は。

**観光戦略
課長**

優れた眺望スポット
として活用する価値
があり、整備計画に
も位置づけているが、保
存管理の制約も有り課題
も多い。整備を進めてい
る周遊観光の資源として
必要で総合的に検討して
いく。



かわばた ただゆき
川畑 忠之 議員

美浜発電所3号機の再稼働について！

再稼働による町長の心境について！

答 町民の信念と誇りはつながるものと考ええる。安全最優先での稼働、地域福祉のさらなる向上を目指す！

問 美浜発電所3号機の運転がいよいよ始まるが、今の心境は。

町長 多くの町民の思いが、ここに至るまで募ってきたと感じる。現在、地球環境に対する危機感が大きく広がり、全世界で脱炭素へ向けた動きが加速している。国が2050年カーボンニュートラルによる温室効果ガス削減に大きく方向性を示したので、脱炭素の安定したエネルギーである原子力の果たす役割は大

さい。原子力発電に、美浜町が寄与できる意義を強く感じている。

知事の再稼働同意について！

答 立地市町での事情・立場は異なるが、同じ視点での同意と考える！

問 立地の町がこれまで困難を乗り越えながら原子力発電に協力してきたが、いま大変なほど地域の経済が冷え切っているため、一日も早い同意判断をされた。知事の判断基準をどう捉えているか。

町長 知事が同意判断基準としたのは、安全の確保、立地地域の理解と同意、地域の恒久的福祉の実現の、原子力行政三原則に基づいてであり、これは、美浜町においても共通する事項と捉えている。私の同意判断要件についても、同じ視点で同様の手続きを経て同意に至った。県とともに国に対して、半世紀にわたる立地町の苦労や課題の実情を伝える中で、立地地域の振興なくして原子力事業を進めることはできない思いを強く訴えてきたと感じている。

地元県会議員による町長の再稼働同意に対する評価について！

答 知事、そして県民、そして我が町民に強く伝わったと捉えている。大変心強く感じた！

問 地元選出の小堀友廣県会議員が知事の再稼働同意に当たり、県議会一般質問において、立地町長の再稼働同意に対する評価と題して訴えていた。知事は長年にわたって志をもって原子力発電に向き合ってきた町であり、しっかりと受け止める。との回答をどう捉えているか。

町長 小堀県会議員には、これまで半世紀にわたり原子力と共生してきた我が美浜町の国策に協力していく強い信念と誇り、そして、苦労をしっかりと重く受け止め、地元の声や思いを代表して県議会に発言いただいたと理解している。その声は、知事、そして県民にも、そして我が町民にも強く伝わったものと捉えており、大変ありがたく、心強く感じた。

原子力政策の今後の方針について！

答 脱炭素社会を目指しており、再生可能エネルギーの導入拡大と原子力政策を進めること！

問 美浜3号機の再稼働の進む中、今後原子力を含む脱炭素電源を最大限活用していくための取り組みは。

核燃料サイクルについて！

答 中間貯蔵施設は、関西電力による県外設置を注視していきたい！

問 現在、使用済燃料の県外搬出は、関西電力が、2023年末までに決定することになっているが、できなければ、美浜3号機は運転を停止すると言っている。よって、それありきではなく、発電所敷地内での乾式貯蔵ができる取り組みも考えなければならぬと感じる。県外での中間貯蔵と発電所敷地内での乾式貯蔵は二社択一ではなく、それぞれ、並行して進めることが、町民の安心・安全にもつながると思うが町長の見解を伺う。

町長 再生可能エネルギーの導入拡大と安全最優先で原子力政策を進め、安定的なエネルギー供給を確立する。引き続き原子力と共生するまちづくりを進めながら、町のエネルギービジョンをベースに、風力発電施設の整備や公共施設での太陽光発電の導入を進めながら、幅広く展開していく。

町長 原子力政策を進める上で、中間貯蔵施設を含めた核燃料サイクル施設の推進は必須だと考える。県はこれまで一貫して、使用済燃料の県外持ち出しを求めており、中間貯蔵施設の県外設置は、県と関西電力の約束であり、国も前面に立って取り組む状況である。現在、2023年に計画地点を確定し、2030年頃の操業開始に向けて、関西電力も不運転の決意で取り組むと表明しており、今はその取り組みを注視していきたい。



つじ まさゆき
辻井 雅之 議員

人口維持の現実 味は？

【答】町民一人ひとりの
意識が大事である。

問

2014年の日本創
生会議の報告による
と、美浜町も人口減少による
町消滅対象リストに入っ
ている。平成2年から令和
3年の32年間に4050
人も減少している。町で
は、具体的な対策を講じて
2040年に7900人の
人口維持に向けた方針を
立てているが、この数字の
現実味を伺う。

町長

この目標数字は、第
2期美浜創生総合戦
略の人口ビジョンにおいて
設定した数字で、社人研が
詳しく分析して出した
2040年の推計6491
人に上積みした目標であ

る。これからの20年、目
標数字に向けた施策を具
現化して行くことが肝要
で、町民一人ひとりが現
状をしっかりと捉え、集
落、地域が人口減少に向
き合うことが目標実現の
大きな鍵となると考え、
見える化・見せる化にしつ
かり取り組んで行きたい。

保育園の定員 オーバーが発生している！ 人口動態も考慮し 保育環境を整える。

問

美し野ニュータウン
の分譲がほぼ完了し、
人口も約200名を超え
る勢いである。子供も多
く、近くのあおなみ保育園
の受入れ人数が、定員を
オーバーしており、地元の
子供が地元の保育園に入れ
ない状況に成っているがど
う対処するのか。

健康福祉 課長

令和元年から3歳以
上児童の保育無償化
と美し野ニュータウ

ンの分譲が進んだ結果、
本年度90名の定員に対し
103名と定員を超えて
保育を行っている。途中
入園希望者も7名おられ
たので、保護者にご了承
頂いて他の保育園で対応
して頂いている。町の地
域別人口動態を考慮しな
がら、各園の定員や保育
士の配置調整と合わせ保
育環境の充実・強化に努
めていく。



マイナンバー カードの普及 状況は！

【答】町職員は殆ど持って
おり、町民は4人に1人
の割合で普及した。

問

マイナンバーカード
の普及が進まない中、
政府は公務員に圧力をか
け、また、プレミアムを付
けての普及を図ったがその
効果は。

住民環境 課長

町職員の普及率は、
病気や、やむを得な
い理由で申請出来な
い場合を除き、交付率は
94・3%で殆どの職員は
持っている。町全体の4
月末現在で、申請率が37
%、交付率が25・3%で4
人に1人が持っていて、
申請が完了すると3人に
1人となる。

情報化社会に 対応する町の 施策は！

【答】会議システム等にも
ICTを活用していく。

問

国のデジタル情報化社
会の推進に伴い、町で
も情報化推進室を設け
ICT化を促進している。
議会でも議案書等のペーパ
レス化や円滑な議会運営の為

に、タブレット端末利用の
準備に入っている。行政も
各課長は端末機を持つこと
になるがその利活用は。

まちづくり 推進課長

議会運営の効率化や
タブレット端末機の
導入は議会からの提
案もあり、会議システ
ム（ウェブ会議）や今後の
情報化社会の対応や携帯
（モバイル）のメリットも
生かし、防災関連会議の
場でも役立つと考えられ、
課題を洗い出しながら検
討を進めて行きたい。



美浜町 小学校運動会



西小学校



東小学校



中央小学校

町民の声

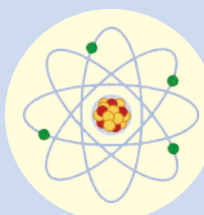
写真募集!

議会広報委員会では町民参加の議会だよりをめざして、「町民の声」や写真を募集しております。
匿名での掲載はできません。

詳細は議会事務局 **0770-32-6711** にお問い合わせください。



美浜町議会広報特別委員会
【委員長】 河本 猛
【副委員長】 川畑 忠之
【委員】 北村 晋・藤本 悟
松本 照幸・梅津 隆久
仲島 正一



本計画策定には環境省の舵取りが今一度重要と考えます。(梅津記)

さらに、2050年カーボンニュートラルを推進するためには再エネとしてソーラー発電の割合を増やそうとしていますが森林破壊による自然災害の誘発や景観上の問題が懸念されます。エネルギー基

美浜町の町税収入の75%が原子力関連である。また、電源三法交付金等の恩恵を忘れることなく原子力発電の推進と美浜発電所3号機の40年超運転の安全・安定運転を望みたいと思います。

編集後記

